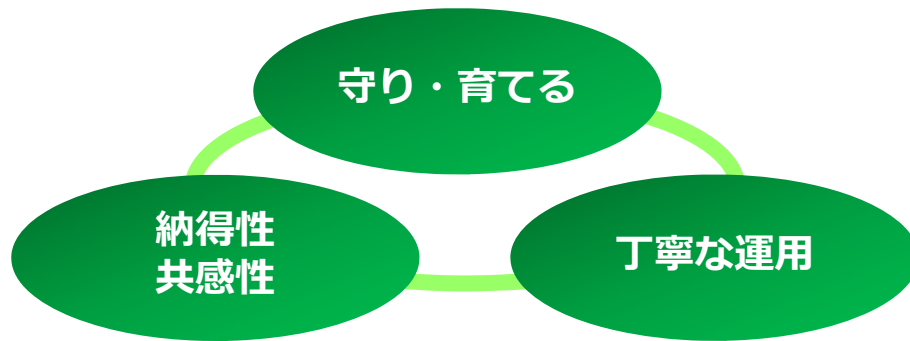


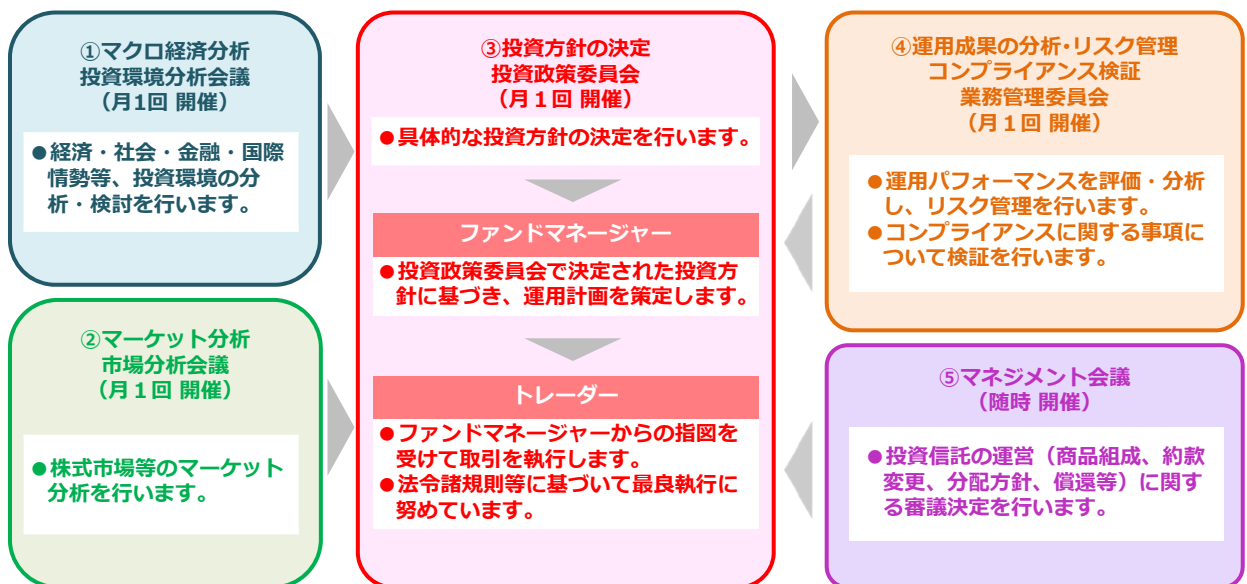
当社の運用体制について

(1) 運用哲学について

- 中銀アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」)といいます。)は、運用哲学である「守り・育てる」「納得性・共感性」「丁寧な運用」を基本に、お客さまの大切な資産の形成にお役に立てるよう運用を行います。

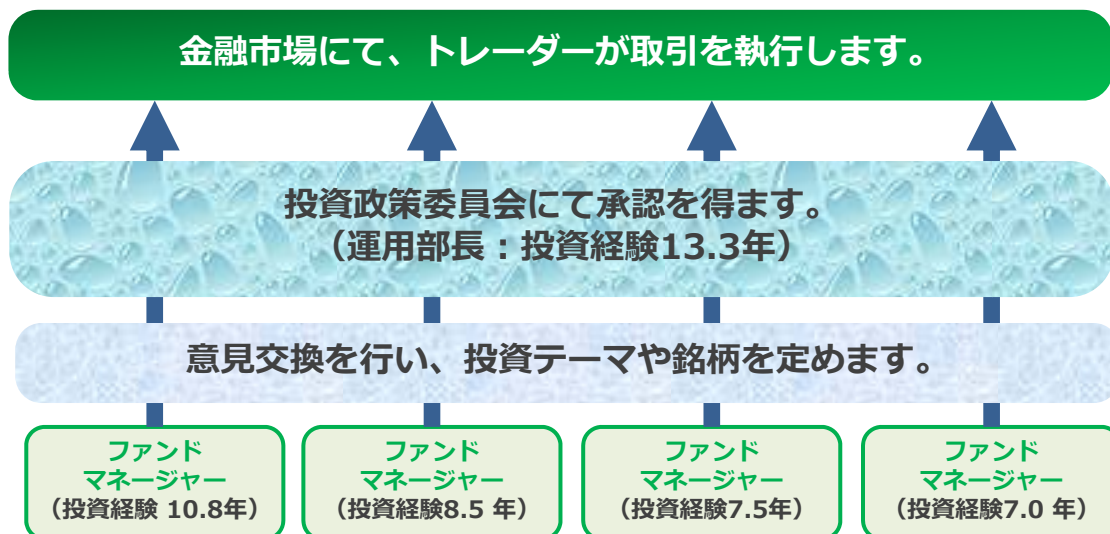


(2) 投資プロセス (基準日:2017年3月末)



- ◆①《投資環境分析会議》および②《市場分析会議》を行い、現在のマクロ環境、マーケット環境を分析します。その内容をもとに③《投資政策委員会》にて投資方針を決定し、運用計画を策定します。
- ◆④《業務管理委員会》において、運用計画に沿って実施された活動・運用パフォーマンス、コンプライアンス体制を検証し、そこで得られた反省点・改善点を①②③にフィードバックして次回以降の会議・委員会に反映させ、より高いパフォーマンスを目指しています。
- ⑤《マネジメント会議》において、投資信託の商品組成・約款変更・分配方針・償還等の審議決定を行います。
- ◆①②の議長および③の委員長は運用部長とし、④の委員長および⑤の議長は社長が行います。

(3) 運用体制・運用担当者に係る事項 (基準日:2017年3月末)



※投資経験とは、当社及び他社を含めた通算年数です。

ファンド名	運用手法※	運用責任者の経験年数	運用チームの人数
ちゅうぎん日経225インデックスファンド	インデックス	13.3年	5人
ちゅうぎん日本大型株アクティブファンド (愛称:未来のゆめ)	アクティブ		

※運用手法について

【インデックス運用とは】

インデックス（あるマーケットの動向を示す指標や指数）に連動した動きを目指す運用方法です。ちゅうぎん日経225インデックスファンドの場合、対象とする指数は「日経平均株価(225種)」ですので、当該指数に連動したパフォーマンスを目指した運用を行っております。

【アクティブ運用とは】

少しでも高いパフォーマンスを目指すために積極的な運用を行う運用方法です。当社では「ボトムアップ・アプローチ」により有望銘柄を選定し、市場の平均を上回るパフォーマンスを追求しています。「ボトムアップ・アプローチ」とは、個別の企業を調査対象とする運用手法です。当社のアナリストやファンドマネージャーが直接企業を訪問して取材や意見交換、工場見学などを行うほか、随時電話による取材などを行います。これにより、ファンドマネージャーが重視している事項の確認や様々な情報の繋がりや発見が行われ、銘柄選定に役立てられます。

